令和７年度　浜田市立第一中学校　学校経営方針

川 田　英 樹

【学校教育目標】
自ら考え、判断・決定し、自ら行動する生徒の育成

【校訓：質実剛健】

【めざす学校像】
明るくさわやかに、生徒・職員・保護者・地域の人々が響き合える学校

【めざす生徒像】
〇夢をもち、何事にも果敢にチャレンジする生徒
〇善悪を判断し、我慢する心を培い、よりよい自分の姿を追い求めようとする生徒
〇自他を大切にし、協働して高め合おうとする生徒

【めざす職員像】
〇「人を人として大切に思う心」をもち、人権感覚を身につけた職員
〇「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」のある授業をめざし、学び続ける教師
〇前例にとらわれず、何事にもチャレンジする職員

学校経営の基本方針

人権・同和教育の理念をすべての教育活動の基底に据え、生徒同士の好ましい人間関係や生徒と職員との信頼関係を確立していく。学校が、生徒一人一人の居場所、安心して自分の力が発揮できる場所、「愛（誇り）と夢と喜び」があふれる場所となるように、家庭・地域と連携してつくっていく。

〇凡事徹底の風土をつくる
教育に特効薬はない。あいさつや整理整頓など当たり前のことが当たり前にできるように地道な取組を大切にする。生徒に言う前に職員が率先垂範していく。

〇教育は一瞬にして永遠
職員の言動は、生徒にとって一生の財産になることも、逆に心に傷をつけることもある。言動の重みをしっかり自覚し、与えられた一瞬一瞬に全力を傾けていく。

指導の重点

１安心して自分の思いを表現できる集団づくり
〇生徒の思いにしっかりと耳を傾けることで、生徒が自己表現しやすい環境をつくり、お互いを高め合おうとする集団づくりに努めます。
〇相手の話をしっかりと聞く態度を身につけさせ、自他を尊重する心を育てます。

２「その教科が好きと言える」授業づくり
〇一人一人がわかる喜びを感じ、仲間と取り組む授業づくりに努めます。
〇家庭学習につながる授業づくりを進め、わかる喜びを確かな学力につなげる課題の提示に努めます。

３「生徒の心に火をともす」教育の推進
〇一人一人に出番や役割がある活動を増やし、交流を通して自己有用感を育む指導に努めます。
〇リアルな体験や本物に接する機会を設定し、身に付いた力を実感できる指導に努めます。

４「地域と共にあゆむ」学校づくり
〇まちづくりセンター等と連携して地域で活動する場をつくり、地域への愛着を育むとともに貢献しようとする態度を育てます。
〇学校だよりやすぐーる等での情報発信を通して、保護者や地域に学校の取組や生徒の頑張りを伝えます。

年間の流れ～自己有用感を高めることを基本に～

1学期～凡事徹底	⇒	2学期～表現する力	⇒	3学期～次年度に向けて

読 書 活 動（読書時間：1週間で最低2時間）→

家 庭 学 習（平日最低家庭学習時間：1年～80分、2年～90分、3年～100分）→

・出会い、仲間づくり	・体育祭、合唱コンクールで団結	・感謝の気持ちをもって行動
・学級集団づくり	・ふるさと学習、修学旅行、職場体験	・45年目の校舎を磨く
・学習規律の確立	・学び合い～自分の考えを表現する	・発展、探究学習にチャレンジ